

第80回国民体育大会
青森県準備委員会

第4回常任委員会



平成30年6月6日（水）
ホテル青森 3階 孔雀の間

第80回国民体育大会青森県準備委員会 第4回常任委員会資料目次

○会次第		P. 1
○報告事項 1	第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会副委員長等の変更について	P. 2
○報告事項 2	第80回国民体育大会準備経過	P. 3
○報告事項 3	各専門委員会の審議結果について	P. 5
○報告事項 4	第80回国民体育大会マスコットキャラクター「アップリート君」の国体仕様基本デザイン	P. 6
○第1号議案	第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定（案）	P. 8
○第2号議案	第80回国民体育大会開催基本構想（素案）	P.10
<参考資料>		
○参考資料 1	第80回国民体育大会会場地市町村選定状況（競技別）	P.21
○参考資料 2	第80回国民体育大会会場地市町村選定状況（市町村別）	P.23
○参考資料 3	第80回国民体育大会開催基本構想の策定について	P.25
○参考資料 4	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画及び広報・県民運動専門委員会名簿	P.30
<名簿>		
○第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会名簿		P.31

第80回国民体育大会青森県準備委員会 第4回常任委員会 次第

日時：平成30年6月6日（水）10：30～11：15

場所：ホテル青森 3階 孔雀の間

1 開 会

○あいさつ 委員長 青森県知事 三村 申吾

2 報 告

○報告事項1 第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会副委員長等の変更について

○報告事項2 第80回国民体育大会準備経過

○報告事項3 各専門委員会の審議結果について

○報告事項4 第80回国民体育大会マスコットキャラクター「アップリート君」の国体仕様基本デザイン

3 議 事

○第1号議案 第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定（案）

○第2号議案 第80回国民体育大会開催基本構想（素案）

4 閉 会

第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会副委員長等の変更について

平成30年1月15日から平成30年6月6日までの間における副委員長及び常任委員の変更については、下記のとおりである。

1 副委員長（1名）

機関・団体名及び役職	新任者	旧任者	変更年月日
青森県教育委員会教育長 ※新教育委員会制度移行による	和嶋 延寿	豊川 好司 中村 充	平成30年4月1日

2 常任委員（17名）

機関・団体名及び役職	新任者	旧任者	変更年月日
青森県議会総務企画危機管理委員会委員長	菊池 憲太郎	小桧山 吉紀	平成30年4月5日
青森県議会環境厚生委員会委員長	藤川 友信	櫛引 ユキ子	平成30年4月5日
青森県議会農林水産委員会委員長	齊藤 爾	岡元 行人	平成30年4月5日
青森県議会商工労働観光エネルギー委員会委員長	工藤 義春	高橋 修一	平成30年4月5日
青森県議会文教公安委員会委員長	寺田 達也	蛭沢 正勝	平成30年4月5日
青森県議会建設委員会委員長	横浜 力	沼尾 啓一	平成30年4月5日
青森県環境生活部長	三浦 朋子	鈴木 日登美	平成30年4月1日
青森県商工労働部長	田中 泰宏	葛西 崇	平成30年4月1日
青森県農林水産部長	高谷 清孝	油川 潤一	平成30年4月1日
青森県県土整備部長	福士 祐治	浅利 次郎	平成30年4月1日
青森県エネルギー総合対策局長	石川 浩明	大澤 隆夫	平成30年4月1日
青森県市議会議長会会長	里村 誠悦	下山 文雄	平成30年4月1日
青森県中学校体育連盟会長	齋藤 実	新井山 毅	平成30年5月2日
青森県中学校長会会長	伊藤 隆	伴 孝文	平成30年4月27日
青森県高等学校長協会会長	宍倉 慎次	成田 昌造	平成30年4月13日
青森県商工会連合会会長	米内山 正義	竹林 秋雄	平成30年5月30日
青森県中小企業団体中央会会長	櫛引 利貞	蝦名 文昭	平成30年5月31日

第80回国民体育大会準備経過

年 月 日	内 容
平成25年 6月24日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成37年に開催の第80回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成26年 6月28日 ～平成27年 7月23日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全6回開催）
8月26日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9月10日	平成27年度第2回青森県総合教育会議において、第80回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9月18日	平成27年9月青森県議会第283回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成37年に開催される第80回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10月 9日	同上定例会において、県議会が「第80回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11月20日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成28年 1月13日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4月 1日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5名体制）
8月31日	第80回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
10月21日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
10月25日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
11月10日	第80回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成29年 3月28日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（7名体制）
4月19日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回常任委員会を開催

年 月 日	内 容
5月24日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総会を開催
7月13日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
7月20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催
10月23日	第80回国民体育大会第1回会場市町村・競技団体担当者会議を開催
10月26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
12月12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成30年 1月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催
1月22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催
1月24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストラーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催
3月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（8名体制）
5月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催
5月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催

各専門委員会の審議結果について

第80回国民体育大会青森県準備委員会会則第13条第2項の規定に基づき、各専門委員会の審議結果について下記のとおり報告する。

○総務企画専門委員会

[第5回]

開催日時：平成30年5月14日（月）10：30～11：30

審議事項：第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定（案）

第80回国民体育大会開催基本構想（素案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○広報・県民運動専門委員会

[第3回]

開催日時：平成30年5月15日（火）10：30～11：30

審議事項：第80回国民体育大会マスコットキャラクター「アップリート君」
の国体仕様基本デザイン（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

第80回国民体育大会マスコットキャラクター 「アップリート君」の国体仕様基本デザイン

○基本形1
(前面)

(参考) 元デザイン



(左右斜め)



○基本形 2
(前後)



(横)



第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定（案）

○正式競技

【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	
1	青森市	水泳	競泳	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場
			水球	少年男子	
			AS	少年女子	
			OWS	男女	青森市特設OWS会場
2	おいらせ町	軟式野球	成年男子	おいらせ町下田公園野球場	
3	六ヶ所村			六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	
4	県外	水泳	飛込	全種別	※今後調整

【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	
1	水泳	競泳	全種別	青森市	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場
		水球	少年男子		
		AS	少年女子		
		OWS	男女		
		飛込	全種別	県外	※今後調整
2	軟式野球	成年男子	おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	

※AS＝アーティスティックスイミング
 (平成30年4月1日にシンクロナイズドスイミングから名称変更)

○公開競技

【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
1	十和田市	バウンドテニス	全種別	十和田市総合体育センター
2	平川市	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
		エアロビック	全種別	(仮称) 平川市民体育館
3	平内町	綱引	全種別	平内町立体育館
4	藤崎町	パワーリフティング	全種別	スポーツプラザ藤崎

【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設
1	綱引	全種別	平内町	平内町立体育館
2	パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎
3	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
4	バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター
5	エアロビック	全種別	平川市	(仮称) 平川市民体育館

(留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体正規視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第80回国民体育大会会場地市町村選定状況(市町村図)

(22市町村、正式33競技、特別1競技、公開5競技)

東青2市町

あおもり
青森市 (総合開・閉会式、14競技)
陸上競技、水泳(競泳、水球、AS、OWS)、
テニス、バレーボール、ハンドボール、ソフトテニス、
卓球、軟式野球、ライフル射撃(GP)、
ラグビーフットボール(15人制)、スポーツライミング、
アーチェリー、ゴルフ、トライアスロン

ひらないまち
平内町 (2競技)
ゴルフ
(公開)綱引

下北1市

むつ市 (4競技)
ボート
バスケットボール
セーリング
フェンシング

上北8市町村

とわだ
十和田市 (4競技)
サッカー
バスケットボール
相撲
(公開)バウンドテニス

みさわ
三沢市 (5競技)
バスケットボール
ソフトボール
軟式野球
銃剣道
ボウリング

のへじまち
野辺地町 (1競技)
ハンドボール

しちのへまち
七戸町 (1競技)
剣道

ろくのへまち
六戸町 (1競技)
軟式野球

とうほくまち
東北町 (1競技)
ソフトボール

ちよう
おいらせ町 (1競技)
軟式野球

ろっかしよむら
六ヶ所村 (1競技)
軟式野球

西北2市

ごしよがわら
五所川原市 (1競技)
バレーボール

つがる市 (2競技)
バレーボール
柔道

中南5市町村

ひろさき
弘前市 (6競技)
体操(競技、新体操)
ソフトボール
弓道(近的、遠的)
空手道
クレー射撃(トラップ、スキート)
(特別)高等学校野球

くろいし
黒石市 (1競技)
バドミントン

ひらかわ
平川市 (3競技)
ウエイトリフティング
(公開)グラウンド・ゴルフ
(公開)エアロビック

ふじさきまち
藤崎町 (2競技)
なぎなた
(公開)パワーリフティング

にしめやむら
西目屋村 (1競技)
カヌー(SP、SL、WW)

三八4市町

はちのへ
八戸市 (7競技)
サッカー
バスケットボール
レスリング
自転車(トラックレース)
ソフトボール
ラグビーフットボール(7人制)
ボウリング

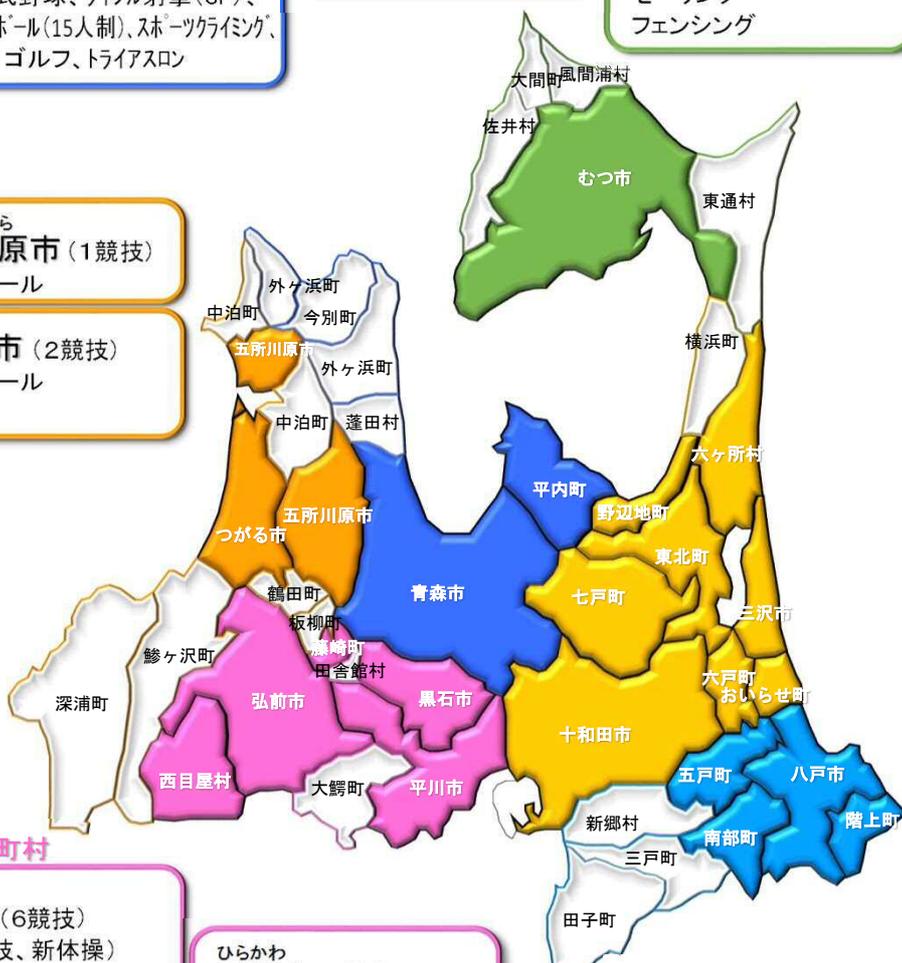
ごのへまち
五戸町 (1競技)
サッカー

なんぶちよう
南部町 (1競技)
サッカー

はしかみちよう
階上町 (1競技)
自転車(ロードレース)

未選定競技

水泳(飛込)
ホッケー
馬術(馬場馬術、障害馬術)
ライフル射撃(50m、10m・AP、BP・BR)
(公開)ゲートボール
(公開)武術太極拳



第80回国民体育大会開催基本構想 (素案)



年 月

第80回国民体育大会青森県準備委員会

目 次

はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～	P.○
第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて	P.○
1 国民体育大会とは	
2 国民体育大会のあゆみ	
3 国民体育大会の課題と改革	
4 青森県での開催意義	
第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向	P.○
1 基本目標	
2 目指す方向	
第3章 基本目標の実現に向けた取組	P.○
1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体	
2 県民が自発的、積極的に参加する国体	
3 来県者を熱い心でおもてなしする国体	
第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて	P.○

はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～

国民体育大会は、昭和21年（1946年）に京都を中心とした京阪神地域で第1回が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典であり、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展等に寄与してきました。

青森県では、昭和52年（1977年）に「心ゆたかに 力たくましく」のローガンの下、第32回国民体育大会「あすなる国体」が、初の完全国体（冬季、夏・秋季の全種目を同一県内で開催）により県内各地で開催し、本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、完全国体を成し遂げた県民の自信と誇りは、その後の県勢発展の大きな原動力となりました。

前回開催から48年ぶりとなる2025年に青森県で第80回国民体育大会を開催します。

この開催基本構想は、「青森県基本計画」において本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」を踏まえ制定した「第80回国民体育大会開催基本方針（平成28年8月31日 第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総会決定）」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて

1 国民体育大会（国体）とは

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

青森県で開催する国体では、競技得点の加点対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」といった競技を実施することになります。

第80回国民体育大会（本大会）における実施予定競技

区分	競技名
正式競技（37競技）	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーションスポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内居住者を対象として実施する競技（今後選定）

2 国民体育大会のあゆみ

国体は、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、昭和21年（1946年）に、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。

昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東

地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

なお、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会からは、国体開催後、開催県で全国障害者スポーツ大会が開催されています。

3 国民体育大会の課題と改革

第1回大会が開催されて以来、半世紀以上が経過する中で、国内のスポーツレベルの向上と国際化により、トップアスリートが国際大会に関連する大会への出場を重視し、国体への参加を見送ることや、地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的、財政的負担感が増大したことなど、国体を取り巻く状況は変化してきました。

このような状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会 以下「日本スポーツ協会」とする。）では、平成15年（2003年）3月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季大会と秋季大会の一本化、総参加数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取組を進め、さらに、平成25年（2013年）3月には「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」を策定し、少年種別の充実や各競技会の実施規模等の見直しなどの取組も進めているところです。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、平成26年（2014年）6月には「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」を策定し、継続的なアスリートの発掘・育成・強化の促進のために、オリンピック競技大会の実施競技等で国体において未実施の競技等の一部を追加して競技会を実施しています。

日本スポーツ協会では、引き続き、大会開催経費の負担軽減等、各種諸課題について国体改革の取組を推進することとしています。

4 青森県での開催意義

国体は、国内最大のスポーツの祭典であると同時に、国内トップレベルの競技を身近に観戦することができる絶好の機会であり、全国から沢山の参加者が県内各地を訪れることとなります。また、デモンストレーションスポーツの実施により、競技スポーツばかりではなく、県民の誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進も図られます。

このような中、青森県で国体を開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりや生きがいつくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって、新たな活力の創出に繋がるという意味で、大いに意義があり、全国から訪れる多くの参加者へ本県のあらゆる魅力を発信できる貴重な機会でもあります。

第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向

1 基本目標

オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする

青森県で開催する第80回国民体育大会が、県民力を結集し、青森らしさあふれる大会となるよう、開催準備段階から感動が創出されるとともに、様々な取組が開催後の本県活力へ繋がることを目指して、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」ことを基本目標と定めます。

また、基本目標の実現に向けて次の3つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

2 目指す方向

（1）県民の誰もがスポーツに親しむ国体

本県選手が活躍するとともに、県民の誰もが、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感し、国体開催時のみならず、開催後もスポーツに親しむ大会を目指します。

（2）県民が自発的、積極的に参加する国体

県民一人ひとりが持つ知恵や力が、開催準備段階から発揮され、開催時にそれらが結集することで、大きな県民力となる大会を目指します。

（3）来県者を熱い心でおもてなしする国体

大会に参加する来県者を心から歓迎するとともに、青森県のあらゆる魅力を発信するなど、熱い心でおもてなしする大会を目指します。

第3章 基本目標の実現に向けた取組

1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体

(1) スポーツを通じた健康づくり、生きがいくりの推進

- ・県民一人ひとりが、年間を通して身近で気軽に取り組めるよう、地域におけるスポーツ教室や健康づくり教室、スポーツイベント等の情報を発信するなど、地域のスポーツ活動を推進します。
- ・国体開催後に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、障害者のスポーツ活動への理解や普及・啓発、発展に努めます。
- ・国体実施競技のうち、デモンストレーションスポーツについては、生涯スポーツの推進のためにも、可能な限り様々な競技を県内各地で開催します。

(2) 将来にわたり持続可能な競技力の向上

- ・県内関係分野の機関・団体等で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の充実を図ります。
- ・継続的な指導体制の確立のため、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図ります。
- ・ジュニア期からの選手の発掘を行い、国体等の全国大会や、国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に努めます。

(3) スポーツへの関心の広がり

- ・県内ゆかりのアスリートによる、国体実施競技の認知度向上を図るとともに、各競技の魅力を発信します。
- ・県内で開催するプロスポーツや各種スポーツ大会等について、積極的に周知します。
- ・大会開催時には、観戦のために各競技会へ訪れる県内外の多くの方々に対応できるよう、必要な環境整備に努めます。

2 県民が自発的、積極的に参加する国体

(1) オールあおもりとなる県民運動の推進

- ・様々な機会を通じて県民に対し大会開催への理解を図るとともに、多様な広報媒体を活用した効果的な広報活動により開催気運の醸成を図ります。
- ・子どもや学生をはじめ、働き世代、高齢者など、広く県民が、自発的、積極

的に参加する多彩な県民運動を展開します。

- ・企業やNPO等が持つノウハウや発想を積極的に取り入れ、協働による取組を行うことにより、効率的・効果的な大会の開催に努めます。

(2) ボランティア等の人財育成

- ・総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍する大会を支えるボランティアを募集・養成します。
- ・競技会の開催に当たる競技役員等について、県内競技団体と連携して計画的に養成します。

(3) 県内各地での競技会の開催

- ・多くの県民が各地域で参画し、スポーツの定着が図れるよう、正式競技、特別競技、公開競技及びデモンストラーションスポーツについて、可能な限り県内各地で分散開催します。
- ・大会運営や準備に当たっては、公共交通機関等の利用促進を図るなど、環境への配慮に努めます。
- ・同一競技を共同で開催する市町村間では、競技会開催に係る宿泊や輸送、地域の魅力発信などについて、連携した取組を進めます。

3 来県者を熱い心でおもてなしする国体

(1) あおもりのあらゆる魅力の発信

- ・あおもりの自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力について、全国の方々に開催前から注目されるよう、観光関連団体等と連携をしながら効果的、複合的に全国へ発信します。
- ・競技会会場地周辺をはじめ、周辺市町村へも来県者が訪れたいくなるよう、地域の魅力発信に取り組みます。

(2) 来県者との交流の促進

- ・県内の駅や空港など交通の主要な場所に、来県者を歓迎し、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置します。
- ・総合開・閉会式や各競技会会場では、参加選手等と県民との交流が図られるよう、機会の充実に努めます。
- ・全ての参加選手が、その力を十分に発揮できるよう、本県選手はもちろんのこと、他都道府県選手の応援も行うことで、大会全体を盛り上げます。

(3) 来県者等へのおもてなしの推進

- ・参加者や来県者、関係者等が、必要な情報を容易に入手できるよう、ICTを活用するなどした環境整備に努めます。
- ・県民一人ひとりが、来県者を歓迎し、まごころや親切心を持って接するなど、心のこもったおもてなしに努めます。

第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて

全国的な人口減少や少子・高齢化に加え、青森県は平均寿命が男女とも全国最下位の状況にあります。スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県（健康長寿県）を目指す青森県にとって、スポーツの推進は大変重要な要素であると言えます。

このような中、あすなろ国体以来48年ぶりに青森県で開催する国体を、様々な課題解決の絶好の機会と捉え、よりよい青森県づくりのために国体開催を成功させることはもちろんのこと、国体開催後にもその効果が持続することが重要です。

競技力の向上や地域スポーツの推進により、スポーツを「する」人が増えることは、全国大会や国際大会で多くの選手が活躍し、県民に活力を与えるとともに子どもたちへ夢や希望、勇気を与えることができます。また、多くの県民がスポーツに親しみ、日常的にスポーツに取り組むこととなり、健康長寿県へつながります。

国体開催を通じたスポーツへの関心の広がりにより、スポーツを「みる」人が増えることは、県民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ観戦の楽しさや素晴らしさを理解し、プロスポーツや各種スポーツ大会が賑わい、地域経済へも好影響をもたらすことができます。

大会ボランティアや競技役員等が養成され、大会期間中を通して活躍することにより、スポーツを「ささえる」人が増えることは、国体開催後の青森県のスポーツ活動の基盤となり、地域活動への意識が醸成され、地域が更なる発展をするための活力にもなります。

このように県民が様々な形でスポーツに関わることは、県民一人ひとりの貴重な財産となり、青森県が目指す「スポーツが盛んな青森県」の実現へ向けての大きな原動力となります。国体開催後も多くの人財が活躍し、スポーツを通して地域が活性化されるよう、2025年、国内最大のスポーツの祭典である第80回国民体育大会の開催に向け、県民の総力を結集し、オールあおもりで取り組んでいきます。

第 80 回国民体育大会会場地市町村選定状況（競技別）

○正式・特別競技

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定期	
1	陸上競技	全種別	青森市	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場	第一次	
2	水泳	競泳	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場	第三次	
		水球	少年男子			
		AS	少年女子			
		飛込	全種別	県外	※今後調整	
		OWS	全種別	青森市	青森市特設OWS会場	第三次
3	サッカー	成年男子	五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場 五戸町ひばり野公園サッカー場	第一次	
			南部町	ふるさと運動公園陸上競技場		
		女子	十和田市	十和田市高森山総合運動公園球技場 十和田市若葉球技場		
			五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場		
		少年男子	八戸市	八戸市多賀多目的運動場		
				八戸市東運動公園陸上競技場		
				八戸市南郷陸上競技場		
4	テニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次	
5	ボート	全種別	むつ市	むつ市大湊特設ボート場	第二次	
6	ホッケー			未選定		
7	バレーボール	成年男子	青森市	マエダアリーナ	第一次	
		少年男子				
		成年女子	五所川原市	五所川原市民体育館		
		少年女子	つがる市	(仮称) つがる市総合体育館		
8	体操	競技	弘前市	青森県武道館	第一次	
		新体操				
9	バスケットボール	成年男子	八戸市	八戸市東体育館	第一次	
		成年女子	むつ市	(仮称) むつ市総合アリーナ		
		少年男子	十和田市	十和田市総合体育センター		
		少年女子	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター		
10	レスリング	全種別	八戸市	八戸市東体育館	第一次	
11	セーリング	全種別	むつ市	大平マリーナ	第二次	
12	ウエイトリフティング	全種別	平川市	(仮称) 平川市民体育館	第一次	
13	ハンドボール	成年男子	青森市	盛運輸アリーナ	第一次	
		成年女子				
		少年男子	野辺地町	(仮称) 野辺地町総合体育館		
		少年女子				
14	自転車	トラックレース	八戸市	八戸自転車競技場	第一次	
		ロードレース	階上町	階上町特設ロードレースコース		
15	ソフトテニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	第一次	
16	卓球	全種別	青森市	マエダアリーナ	第一次	
17	軟式野球	成年男子	青森市	青森県営野球場 青森市営野球場	第二次	
			三沢市	三沢市民運動広場野球場		
			六戸町	六戸町総合運動公園野球場		
			おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	第三次	
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場		
18	相撲	全種別	十和田市	十和田市相撲場	第一次	
19	馬術	馬場馬術	未選定			
		障害馬術				
20	フェンシング	全種別	むつ市	(仮称) むつ市総合アリーナ	第一次	
21	柔道	全種別	つがる市	(仮称) つがる市総合体育館	第一次	

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定時期	
22	ソフトボール	成年男子	八戸市	八戸市長根公園野球場 八戸市東運動公園野球場	第一次	
		成年女子	弘前市	弘前市運動公園野球場 弘前市運動公園多目的運動広場		
		少年男子	東北町	東北町北総合運動公園 東北町南総合運動公園		
		少年女子	三沢市	三沢市民運動広場野球場 三沢市南山屋外運動場		
23	バドミントン	全種別	黒石市	スポカルイン黒石	第一次	
24	弓道	全種別	弘前市	青森県武道館	第一次	
25	ライフル射撃	50m	未選定			
		10m・AP BP・BR	未選定			
	CP	成年男子	青森市	青森県警察学校射撃場	第二次	
26	剣道	全種別	七戸町	(仮称)七戸町新体育館	第一次	
27	ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	八戸市	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場	第一次
		15人制	少年男子	青森市	青森市スポーツ広場ラグビー場 青森市スポーツ広場多目的グラウンド 新青森県総合運動公園球技場	第一次
28	スポーツライミング	リード	全種別	青森市	盛運輸アリーナ	第二次
		ボールディング	全種別			
29	カヌー	スプリント	全種別	西目屋村	津軽白神湖特設カヌー競技場 岩木川カヌー競技場	第一次
		スラローム	全種別			
		ワイルドウォーター	全種別			
30	アーチェリー	全種別	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園陸上競技場補助競技場・投てき練習場	第一次	
31	空手道	全種別	弘前市	青森県武道館	第一次	
32	銃剣道	全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	第二次	
33	クレール射撃	全種別	弘前市	弘前クレール射撃場	第二次	
34	なぎなた	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	第一次	
35	ボウリング	成年男子 成年女子	八戸市	ゆりの木ボウル	第一次	
		少年男子 少年女子	三沢市	三沢ボウル		
36	ゴルフ	成年男子	平内町	夏泊ゴルフリンクス	第一次	
		女子 少年男子	青森市	青森カントリー倶楽部 東奥カントリークラブ		
37	トライアスロン	全種別	青森市	青森市特設トライアスロン会場	第一次	
38	高等学校野球	硬式	弘前市	弘前市運動公園野球場	第一次	
		軟式		岩木山総合公園野球場		

○公開競技

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	選定時期
1	綱引	全種別	平内町	平内町立体育館	第三次
2	ゲートボール	未選定			
3	武術太極拳	未選定			
4	パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	第三次
5	グラウンドゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム	第三次
6	バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター	第三次
7	エアロビク	全種別	平川市	(仮称)平川市民体育館	第三次

※第一次選定 (H29.4.19)、第二次選定 (H30.1.15)

第 80 回国民体育大会会場地市町村選定状況（市町村別）

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	選定期		
1	青森市	陸上競技		全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場	第一次	
		水泳	競泳	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園水泳場	第三次	
			水球	少年男子			
			AS	少年女子			
			OWS	全種別	青森市特設OWS会場		
		テニス	全種別	新青森県総合運動公園テニスコート		第一次	
		バレーボール	成年男子 少年男子	マエダアリーナ		第一次	
		ハンドボール	成年男子 成年女子	盛運輸アリーナ		第一次	
		ソフトテニス	全種別	新青森県総合運動公園テニスコート		第一次	
		卓球	全種別	マエダアリーナ		第一次	
		軟式野球	成年男子	青森県営野球場 青森市営野球場		第二次	
		ライフル射撃	CP	成年男子	青森県警察学校射撃場	第二次	
		ラグビーフットボール	15人制	少年男子	青森市スポーツ広場ラグビー場 青森市スポーツ広場多目的グラウンド 新青森県総合運動公園球技場	第一次	
		スポーツクライミング	リード	全種別	盛運輸アリーナ	第二次	
			ボルダリング	全種別			
		アーチェリー	全種別	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場補助競技場・投てき練習場		第一次	
		ゴルフ	女子 少年男子	青森カントリー倶楽部 東奥カントリークラブ		第一次	
		トライアスロン	全種別	青森市特設トライアスロン会場		第一次	
		体操	競技	全種別	青森県武道館	第一次	
新体操	少年女子						
ソフトボール	成年女子	弘前市運動公園野球場 弘前市運動公園多目的運動広場		第一次			
弓道	全種別	青森県武道館		第一次			
空手道	全種別	青森県武道館		第一次			
クレー射撃	全種別	弘前クレー射撃場		第二次			
(特別) 高等学校野球	硬式	—	弘前市運動公園野球場	第一次			
	軟式	—	岩木山総合公園野球場				
3	八戸市	サッカー		少年男子	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場	第一次	
		バスケットボール	成年男子	八戸市東体育館		第一次	
		レスリング	全種別	八戸市東体育館		第一次	
		自転車	トラックレース	全種別	八戸自転車競技場		第一次
		ソフトボール	成年男子	八戸市長根公園野球場 八戸市東運動公園野球場		第一次	
		ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	八戸市多賀多目的運動場 八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南郷陸上競技場	第一次	
		ボウリング	成年男子 成年女子	ゆりの木ボウル		第一次	
4	黒石市	バドミントン	全種別	スポカルイン黒石	第一次		
5	五所川原市	バレーボール	成年女子	五所川原市民体育館	第一次		
6	十和田市	サッカー		女子	十和田市高森山総合運動公園球技場 十和田市若葉球技場	第一次	
		バスケットボール	少年男子	十和田市総合体育センター		第一次	
		相撲	全種別	十和田市相撲場		第一次	
		(公開) ハウトテニス	全種別	十和田市総合体育センター		第三次	

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	選定期	
7	三沢市	バスケットボール	少年女子	三沢市国際交流スポーツセンター	第一次	
		軟式野球	成年男子	三沢市民運動広場野球場	第二次	
		ソフトボール	少年女子	三沢市民運動広場野球場	第一次	
				三沢市南山屋外運動場		
		銃剣道	全種別	三沢市国際交流スポーツセンター	第二次	
ボウリング	少年男子	三沢ボウル	第一次			
	少年女子					
8	むつ市	ボート	全種別	むつ市大湊特設ボート場	第二次	
		バスケットボール	成年女子	(仮称)むつ市総合アリーナ	第一次	
		セーリング	全種別	大平マリーナ	第二次	
		フェンシング	全種別	(仮称)むつ市総合アリーナ	第一次	
9	つがる市	バレーボール	少年女子	(仮称)つがる市総合体育館	第一次	
		柔道	全種別	(仮称)つがる市総合体育館	第一次	
10	平川市	ウエイトリフティング	全種別	(仮称)平川市民体育館	第一次	
		(公開)グラウンドゴルフ	全種別	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム	第三次	
		(公開)エアロビク	全種別	(仮称)平川市民体育館	第三次	
11	平内町	ゴルフ	成年男子	夏泊ゴルフリンクス	第一次	
		(公開)綱引	全種別	平内町立体育館	第三次	
12	西目屋村	カヌー	スプリント	全種別	津軽白神湖特設カヌー競技場	第一次
			スラローム	全種別	岩木川カヌー競技場	
			ワイルドウォーター	全種別		
13	藤崎町	なぎなた	全種別	スポーツプラザ藤崎	第一次	
		(公開)パワーリフティング	全種別		第三次	
14	野辺地町	ハンドボール	少年男子 少年女子	(仮称)野辺地町総合体育館	第一次	
15	七戸町	剣道	全種別	(仮称)七戸町新体育館	第一次	
16	六戸町	軟式野球	成年男子	六戸町総合運動公園野球場	第二次	
17	東北町	ソフトボール	少年男子	東北町北総合運動公園	第一次	
				東北町南総合運動公園		
18	六ヶ所村	軟式野球	成年男子	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	第三次	
19	おいらせ町	軟式野球	成年男子	おいらせ町下田公園野球場	第三次	
20	五戸町	サッカー	成年男子	五戸町ひばり野公園陸上競技場 五戸町ひばり野公園サッカー場	第一次	
			女子	五戸町ひばり野公園陸上競技場		
21	南部町	サッカー	成年男子	ふるさと運動公園陸上競技場	第一次	
22	階上町	自転車	ロードレース	全種別	階上町特設ロードレースコース	第一次
	県外	水泳	飛込	全種別	※今後調整	
未選定	未選定	ホッケー		未選定		
		馬術	馬場馬術			
			障害馬術			
		ライフル射撃	50m			
			10m・AP			
			BP・BR			
(公開)ゲートボール						
(公開)武術太極拳						

※第一次選定 (H29. 4. 19)、第二次選定 (H30. 1. 15)

※競技名の前にある「(特別)」は特別競技、「(公開)」は公開競技、それ以外は正式競技

第 80 回国民体育大会開催基本構想の策定について

1 策定趣旨

第 80 回国民体育大会開催基本方針（平成 28 年 8 月 31 日第 1 回総会決定）に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標を定め、その実現に向けた方向性を明らかにし、広く周知することにより、開催準備を円滑に推進するため、第 80 回国民体育大会開催基本構想（以下「開催基本構想」という。）を策定する。

2 策定の進め方

- (1) 開催基本構想（素案）作成に向け、県準備委員会事務局において、県庁内、県内市町村及び県内競技団体（県体協又は県スポレク連盟の加盟団体）に意見照会し、その意見等を反映する。
- (2) 専門委員会規程第 5 条第 1 項の規定に基づき、開催基本構想策定検討部会を設置し、開催基本構想（素案）を作成する。
- (3) 開催基本構想（素案）を総務企画専門委員会で審議し、その後、常任委員会で審議する。
- (4) 常任委員会で審議後、開催基本構想（素案）について、パブリックコメントを実施し、県民等から広く意見を求める。
- (5) 県民等から寄せられた意見等を踏まえた開催基本構想（案）を総務企画専門委員会で審議、その後、常任委員会で審議、決定し、開催基本構想を策定する。

3 開催基本構想策定検討部会の設置

(1) 設置目的

第 80 回国民体育大会の開催に向けて、開催基本構想の策定を円滑に推進するため、開催基本構想策定検討部会を設置する。（別紙 1）

(2) 委員構成

別紙 2 のとおり

4 策定スケジュール

別紙 3 のとおり

5 策定に当たっての留意事項

国民体育大会の名称変更が予定されていることから、名称変更を踏まえ、策定する。

第 80 回国民体育大会青森県準備委員会
総務企画専門委員会部会設置要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、第 80 回国民体育大会青森県準備委員会専門委員会規程第 5 条第 1 項の規定に基づき、総務企画専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会の名称及び付託事項)

第 2 条 部会の名称及び専門委員会からの付託事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第 3 条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、部会委員のうちから専門委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員が、その職務を代理する。

(任期)

第 4 条 部会委員の任期は、委嘱されたときから部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、部会委員が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その部会委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第 5 条 部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

- 2 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 部会は、付託事項を審議したときは、その結果を専門委員会に報告するものとする。
- 4 部会長が必要と認めるときは、部会委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(委任)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が専門委員会委員長の承認を得て別に定める。

附 則

この要綱は、平成 29 年 11 月 1 日から施行する。

別表（第2条関係）

名 称	付 託 事 項
開催基本構想策定検討部会	開催基本構想の策定に向けた検討に関する事

第 8 0 回国民体育大会開催基本構想策定検討部会委員構成

(順不同：敬略称)

区 分	分 野	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職 名	氏 名
部会長	学識経験者	弘前大学教育学部長	戸塚 学
部会委員	市町村関係	青森県市長会事務局長	嶋口 幸造
		青森県町村会事務局長	小笠原 靖介
	学識経験者	青森中央学院大学経営法学部教授	高山 貢
		八戸学院短期大学学長補佐・ ライフデザイン学科長	茂木 典子
	スポーツ	あおもりアスリートネットワーク代表	齋藤 春香

第 80 回国民体育大会開催基本構想策定スケジュール

年 月	総務企画専門委員会	開催基本構想策定検討部会	逆 年
H29. 11	総務企画専門委員会開催 「開催基本構想の策定について」 を審議、決定		開催 8 年前
	県庁内、県内市町村及び県内競技団体に意見照会		
H30. 1		開催基本構想策定検討部会開催 開催基本構想（素案）の検討	開催 7 年前
H30. 3		開催基本構想策定検討部会開催 開催基本構想（素案）の審議	
H30. 5	総務企画専門委員会開催 開催基本構想（素案）の審議		
H30. 6	常任委員会開催 開催基本構想（素案）の審議		
H30. 8 ～9	パブリックコメントの実施		
H30. 10		パブリックコメントの意見等反映 開催基本構想策定検討部会委員へ 開催基本構想（案）の報告	
H30. 11	総務企画専門委員会開催 開催基本構想（案）の審議		
H30. 12	常任委員会開催 開催基本構想（案）の審議、決定		
	開催基本構想の策定		
H31. 6	総会開催 開催基本構想の報告		

第 80 回国民体育大会青森県準備委員会総務企画及び広報・県民運動専門委員会名簿

(◎委員長、○副委員長)

総務企画専門委員会 (16名)

平成30年5月14日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
市町村関係	青森県市長会 事務局長	嶋口 幸造
	青森県町村会 事務局長	小笠原 靖介
体育・スポーツ関係	◎公益財団法人青森県体育協会 専務理事	田澤 俊明
	青森県スポーツ推進審議会 委員	山本 美紗子
	特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟 事務局長	葛西 のり子
学校関係	青森県高等学校体育連盟 副会長	安達 健夫
	青森県中学校体育連盟 副会長	奥島 義光
福祉・障害者関係	特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会 理事	中嶋 実樹
学識経験者	○弘前大学教育学部長	戸塚 学
経済・産業関係	青森県商工会議所連合会 事務局長	道川 浩治
	青森県商工会連合会 事務局長	苫米地 勝
県関係	総務部市町村課 課長	米田 圭吾
	企画政策部企画調整課 課長	東 直樹
	健康福祉部障害福祉課 課長	村上 直弘
	観光国際戦略局観光企画課 課長	三上 洋輝
	教育庁スポーツ健康課 課長	相坂 譲

広報・県民運動専門委員会 (27名)

平成30年5月15日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
報道関係	○青森放送株式会社 報道部長	鳴海 勝彦
	株式会社青森テレビ 報道制作部長	成田 克彦
	青森朝日放送株式会社 報道制作部長	帷子 聖修
	日本放送協会青森放送局 放送部長	青田 浩一
	株式会社東奥日報社 社会部次長	秋元 宏宣
	株式会社陸奥新報社青森支社 編集部長	今井 珠世
	株式会社ゲーマー東北新聞社青森支社 編集部長	長谷川 開丈
	株式会社エフエム青森 放送部長	鈴木 耕治
経済・産業関係	青森県商工会議所連合会(青森商工会議所) 地域振興部長	鈴木 匡
	青森県商工会連合会 総務組織課長	井上 英治
	青森県中小企業団体中央会 総務課長	船水 礼子
観光関係	公益社団法人青森県観光連盟 事務局長	鈴木 耕司
学識経験者	◎公立大学法人青森公立大学 教授	香取 真理
社会・福祉関係	社会福祉法人青森県社会福祉協議会 事務局長	工藤 昌彦
	公益財団法人青森県老人クラブ連合会 事務局長	五戸 秀樹
	青森県地域婦人団体連合会 事務局長	鈴木 静子
スポーツ関係	青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長	鹿内 葵
学校関係	青森県小学校長会 副会長	福井 巧二
	青森県中学校長会 副会長	川井 清広
	青森県高等学校長協会 常任理事	長者久保 雅仁
	青森県特別支援学校校長会 副会長	成田 安男
	青森県私立中学高等学校長協会 事務局長	嶋津 泰久
市町村関係	青森市 広報広聴課長	田中 聡子
	おいらせ町 総務課長	泉山 裕一
県関係	企画政策部広報広聴課 課長	白山 昭彦
	環境生活部県民生活文化課 課長	福井 弘信
	観光国際戦略局観光企画課 課長	三上 洋輝

第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会名簿

委員長 1名、副委員長 7名、常任委員 52名、計 60名

(敬称略)

NO	役職	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名	
1	委員長	県	青森県知事	三村 申吾	
2	副委員長	県議会	青森県議会議長	熊谷 雄一	
3			青森県副知事	青山 祐治	
4		県	青森県副知事	佐々木 郁夫	
5			青森県教育委員会教育長	和嶋 延寿	
6			公益財団法人青森県体育協会会長	佐々木 郁夫	
7			青森県市長会会長	小野寺 晃彦	
8			青森県町村会会長	関 和典	
9	常任委員	県議会	青森県議会副議長	山谷 清文	
10			青森県議会総務企画危機管理委員会委員長	菊池 憲太郎	
11			青森県議会環境厚生委員会委員長	藤川 友信	
12			青森県議会農林水産委員会委員長	齊藤 爾	
13			青森県議会商工労働観光エネルギー委員会委員長	工藤 義春	
14			青森県議会文教公安委員会委員長	寺田 達也	
15			青森県議会建設委員会委員長	横浜 力郎	
16			青森県スポーツ推進議員連盟会長	清水 悦郎	
17			県	青森県病院事業管理者	吉田 茂昭
18				青森県警察本部長	住友 一仁
19				青森県総務部長	田中 良斉
20				青森県企画政策部長	原田 啓一
21				青森県環境生活部長	三浦 朋子
22				青森県健康福祉部長	菊地 公英
23				青森県商工労働部長	田中 泰宏
24				青森県農林水産部長	高谷 清孝
25	青森県国土整備部長	福土 祐治			
26	青森県危機管理局長	工藤 純一			
27	青森県観光国際戦略局長	秋田 佳紀			
28	青森県エネルギー総合対策局長	石川 浩明			
29	県体協	公益財団法人青森県体育協会副会長	春藤 英徳		
30		公益財団法人青森県体育協会副会長	奥 静子		
31		公益財団法人青森県体育協会副会長	岡村 良久		
32		公益財団法人青森県体育協会副会長	神山 久志		
33		公益財団法人青森県体育協会副会長	江渡 光夫		
34		公益財団法人青森県体育協会副会長	澤内 陽		
35		公益財団法人青森県体育協会副会長	澤内 和興		
36		公益財団法人青森県体育協会副会長	※ 欠員		
37	スポーツ	青森県スポーツ推進審議会会長	本間 正行		
38		青森県スポーツ推進委員協議会会長	目澤 伸一		
39		特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟会長	相馬 鋳一		
40		特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会理事長	高杉 勝彦		
41	市町村議会	青森県市議会議長会会長	里村 誠悦		
42		青森県町村議会議長会会長	野呂 日出男		
43	市町村	青森県市町村教育委員会連絡協議会会長	成田 一二三		
44	学校	青森県中学校体育連盟会長	齋藤 実		
45		青森県高等学校体育連盟会長	花田 慎		
46		青森県小学校長会会長	中谷 保美		
47		青森県中学校長会会長	伊藤 隆		
48		青森県高等学校長協会会長	穴倉 慎次		
49		青森県私立中学高等学校長協会会長	村田 秀俊		
50		産業・経済	青森県商工会議所連合会会長	若井 敬一郎	
51	青森県商工会連合会会長		米内山 正義		
52	青森県中小企業団体中央会会長		榎引 利貞		
53	一般社団法人青森県経営者協会会長		浜谷 哲		
54	青森県経済同友会代表幹事		杉本 康雄		
55	公益社団法人日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会会長		山子 泰典		
56	通信・輸送	公益社団法人青森県バス協会会長	工藤 清		
57		公益社団法人青森県観光連盟理事長	大黒 裕明		
58	医療・福祉	公益社団法人青森県医師会会長	齊藤 勝		
59		社会福祉法人青森県社会福祉協議会会長	前田 保		
60	社会団体等	青森県地域婦人団体連合会会長	向井 麗子		